

生産者への苗木寄贈プロジェクト

～ブラジル生産者への苗木寄贈を実施～

2022年からスタートした苗木寄贈の取り組みにつきまして、ブラジルにおいては2023年から開始し、2025年で3回目の寄贈となりました。

今回は2025年12月2日に実施されたセレモニーの様子をご報告いたします。

実施エリアはミナスジェライス州の南部、São Sebastião do Paraíso（サン・セバスチャン・ド・パライソ）エリアです。

このエリアの農家の方に10,000本のコーヒーの木の苗木を寄贈いたしました。



São Sebastião do Paraíso地区 / Minas Gerais州

【セレモニーの様子】



（農園主のThiago氏と寄贈した苗木）



（Thiago氏のご家族と弊社社員）

寄贈セレモニーでは、弊社代表取締役社長 塩澤のメッセージを弊社社員が代読し、農家の方に苗木寄贈に対する弊社の思いをお伝えしました。

2024年9月にこのエリアで大規模な火事があり、Thiago氏の農園でも45,000本の木が燃えてしまい、被害が大きかったとのこと。

今回タイミング良く寄贈いただき大変有難いとの感謝のお言葉をいただきました。

【植樹の様子】

寄贈した苗木の品種は高収量で高いサビ病耐性を有し、生育が安定している品種を選んでおります。



Thiago氏にご指導いただき、寄贈した苗木を実際に植樹しました。
後日残りの苗木も無事植樹が完了したとのご報告をいただいております。

Thiago氏からは、感謝のお言葉とともに、「しっかり品質の良いものを育てていき、必要な時は供給させていただきます」との力強いお言葉もいただきました。

今後も継続して苗木の寄贈を行うことで、生産者の方々が持続的にコーヒー豆の生産を行えるよう支援してまいります。
あわせて同エリアから継続してコーヒー豆の購入を行ってまいります。